

## -平成30年度 西糀谷しろはと保育園 事業計画

### 1. 概要

#### ①運営方針

- 大田区では、待機児解消に向けた取り組み（保育所など新規開設設備費、保育士人材確保支援事業など）として約53億円の予算を計上しています。さらに東京都でも子育て支援に様々な補助金を拠出しながら保育の拡充を図っており自園でも国や区の動向を見ながら地域に根付いた保育の充実と地域支援を実施していきます。
- 子どもの知識や経験を広げる為に自然環境に目を向けた、木育活動を保育内容の中に計画的に実施していきます。
- 保育士の定着及び離職防止のために宿舍借り上げによる補助や、常勤、非常勤の働き方を改善するとともに、長期的な雇用を考え、補助金を活用した運用をします。
- 保育所保育指針改定に伴い、全体的な計画の見直しをし、保育内容の充実と職員の質の向上に努めます。さらに、処遇改善手当Ⅱの支給条件であるキャリアパス研修を受講させることや、園内、園外の研修の実施に充実を図ります。また今年度は第三者評価の受審実施年度になります。法人の理念を元に計画、実施、見直しを丁寧に行ない、保育を進めていきます。

②定員 129名

③事業日数 295日（年末保育の12月29、30日を含む）

④開園時間 月曜日～土曜日 7時15分から20時15分  
年末保育期間 8時30分から18時30分

⑤保育時間 早朝保育 7時15分から 8時30分  
通常保育 8時30分から18時15分  
延長保育 18時15分から20時15分

⑥職員数 園長 1名、主任保育士 1名、保育士 19名、保育補助5名  
看護師 1名、パート6名、嘱託医（内科医1名 歯科医1名）

### 2. 保育運営

#### ①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性、人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

## ②保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

## ③保育目標

乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

## ④クラス編成及び職員配置

0歳児	おたまじゃくし組	12名	保育士4名	看護師1名
1歳児	めだか組	18名	保育士4名	
2歳児	かに組	24名	保育士4名	(非常勤1名)
3歳児	かえる組	25名	保育士2名	
4歳児	とびうお組	25名	保育士2名	(非常勤1名)
5歳児	くじら組	25名	保育士2名	
				主任保育士1名
				障害児担当加配保育士 2名 (有資格者)
				早朝・延長保育担当保育補助4名
園児		計129名	保育士	

## ⑥保育内容

- ピラミッドメソッドを基盤とし、子どもの生活しやすい環境構成や援助の仕方など、小グループでの保育を行います。また、新たな保育所保育指針を基に発達過程に沿った一人一人の育ちを考慮した養護と教育が一体となった保育を行いません。
- 異年齢交流や世代間交流の中で、子どもの保育環境を豊かにして人と関わる力や思いやりを育む保育を進めます。
- 子どもたちの体力とコミュニケーション能力の向上のため安田式運動遊具を使った運動遊びと週1回の体育遊びを日々の積み重ねとして丁寧に取り組みます。
- 子どもの表現力を豊かにする造形遊びの取り組みを木育活動と連動しながら継続して実施します。
- 食育計画に基づき、給食委託業者と連携を図り、子どもの食への興味や関心を深めるように食育活動として『見る・触れる』等の実体験を中心とした野菜の栽培やクッキングなどの食育指導を実施します。さらに本やパネルなどの媒体を使用しながら食の大切さを知らせます。
- 子どもの人権尊重と最善の利益について職員で確認しながら保育内容を見直し、子どもが健康で安全で情緒の安定した生活が出来る環境づくりを進めます。

## ⑥家庭との連携

- 保育理念、保育目標をクラス懇談会（年2回）、個人面談（年1回、また随時受け付ける）、保育参観または保育参加を（年1回）実施する中で伝え、保護者が安心できる保育園をめざし内容の充実を図ります。さらに、安田式運動遊びの中から心とからだの成長について講演会を実施し保護者の知識を高めていきます。また、4月当初に年長の保護者を中心に就学に向けて、の講演会を実施し家庭と共に子どもの育ちを援助します。
- 保護者からの要望や意見は、行事や保護者会の後に必ずアンケートを取り集約し、保護者にフィードバックします。さらに第三者評価実施により保護者のニーズを把握し、子どもを主体依考えた保育を見直します。
- 保護者の危機管理意識を高める為に、大田区危機管理課に依頼し、防災や減災について園の方針を伝え、協力の依頼をしていきます。また、職員は救急救命法の2級取得継続のための研修を計画的に実施します。

## ⑦人材育成

- 大田区の実践力強化研修や乳児保育、障害時保育、公開保育などへの参加とともに質の向上のための研修を意識した個別の研修計画を策定し、日常保育に必要な課題を設けて基本的な知識や技術の向上を図ります。
- 保育所保育指針の改定に伴い子どもの発達過程を確認し、定期的な自己評価をしながら保育の見直しを行います。
- 危機管理研修、エールの運動遊び、発達支援研修、木育研修などを実施しながら職員との意識の共有をします。
- 看護師の年間計画を基に、感染症やAEDの使用方法について定期的に訓練していきます。さらに、危機管理について園内研修を継続し防災訓練に努めます。
- 新人職員2名の研修、キャリアアップ研修など経験に応じた必要な研修計画を立て職員の育成に努めます。

## ⑧地域の実態に対応した事業

- 今年度も「よちよちタイム」の子育て支援を毎月1回・お年寄りとの交流を月に1回の予定で実施します。活動をするにあたっては、ボランティアの活用や自治体の補助金を利用し、ベビーマッサージ、バランスボールなどの育児講座と共にコンサートや人形劇を計画し、保護者の育児の気分転換や育児不安の軽減を図る内容を取り入れます。
- 区役所の出張所や児童館の掲示板の活用や地域の親子が情報収集しやすいホームページや掲示内容の工夫をしながら情報発信を行ないます。
- 公立保育園との三園交流を5月から2月の間毎月1回実施します。また、保幼小の連携で卒園後も継続して子ども達との関わりを持ち支援が行なえるように行事への参加の呼びかけをします。
- 夏祭りや町会行事などに参加交流し、地域の身近な保育園となるように努めます。

#### 地域の社会資源との連携

- 地域小中学校と交流（職場体験、学校訪問、運動会の実施、）を定期的に行うとともに、災害時の対応（避難場所の提供など）について地域と連携して取り組みます。
- 地域行政、民生委員、保健師などと連携を強化し育児困難家庭の支援などで、地域貢献を行ないます。
- 保護者や地域、職員の意識向上を図るために大田区の危機管理課に依頼し、防災教育を実施します。

#### ⑨苦情処理

- 第三者委員2名を設置し、委員の所属、連絡先と苦情解決の仕組みを記入したポスターの掲示を行い、保護者の苦情に対応していきます
- 「みんなの声」と称した保護者の意見箱を設置するとともに、苦情や意見は可能な限り直接で伝えてくれるような職員と保護者の関係を築き上げていきます。  
寄せられた意見については概ね24時間以内に回答し、協議中の事案については、経過報告を行います。
- 第三者評価の利用者アンケートを利用し、保護者のニーズの把握に努めます。
- 保護者の必要とする情報は、繰り返し、分りやすく、丁寧に伝える工夫を心掛けるとともにクラスでのトラブルや事故については、クラスのみではなく園長や主任がさらに対応し、クラスと保護者の信頼関係を深めるように努めます。

#### ⑩リスクマネジメント

- 大田区が実施する年に1回の施設点検（建築、設備）と共に、各クラスの環境の安全面点検を月に1回実施し、施設の安全確認と職員のリスクマネジメントに対する意識を高めます。  
また、職員の危険予知能力を高める為、ヒヤリハットを活用してなど具体的に事例を挙げた研修をします。
- 防災計画に基づいた避難・消火訓練を実施し、万一の大震災、非常事態の発生に備えて保護者への連絡方法（一斉送信メールの活用など）職員の体制、避難経路などマニュアルの見直し確認を行い職員に周知します。
- 食糧や救急用品など備蓄品についての点検を4月と防災の日の9月に実施します。食料品についてはアレルギー対応の食品を備蓄します。
- 年長、年中児のみ防災リュックを個人購入してもらい、非常時に各自持ち避難する訓練を実施します。
- 救急救命2級の資格を維持するため継続的な研修を実施し、定期的に訓練していきます。
- 職員と保護者も含めた、防災の研修を実施し意識を高めるとともに、災害時の緊急連絡をするため、メール情報配信サービス「メルポコ」への登録をお願いします。
- 食の安全の視点から給食委託業者と、アレルギー事故の防止や異物混入、給食提供方法などについて確認、見直を毎月実施します。衛生面や味などについて事業者と連携を取りながら給食提供を行ないます。



西糀谷しろはと保育園

平成30年度年間行事予定

月	行 事	保護者参加行事	地域活動
4月	進級式 2日(月) 入園日 2日(月) 造形 20日(金)	入園日 2日(月) 新入児オリエンテーション 防災講演会 7日(金) 5歳児保護者会 21日(土)	防災講演会
5月	こどもの日の集い 10日(火) (3・4・5歳児) エール体育遊び 24日(木) パネルシアター 25日(金) 健康診断	とびうお・かに保護者会 19日(土) めだか・かえる保護者会 26日(土)	こどもの日の集い ベビーマッサージ (12日) パネルシアター
6月	歯科健診 日( ) トムテ 28日(木) 人形劇 13日(火) プール開き 26日(火)	おたまじゃくし保護者会 2日(土)	人形劇 15日 ベビーマッサージ (9日)
7月	七夕夏祭り 6日(木)・7日(金) パネルシアター 27日(金)	夏祭り 6・7日(金)	夏祭り 夏の健康教育 パネルシアター
8月	サマーコンサート・・・未定		サマーコンサート バランスボール
9月	防災の日 3日(月) プール締め 4日(火) ぽかぽか交流会 14日(金) パネルシアター 21日(金) 運動会 29日(土)	引取り訓練 運動会	パネルシアター バランスボール 運動会
10月	エール体育遊び 日( ) 園外保育 19日(金) 交通安全教室 日( )		バランスボール
11月	いもほり やきいも パネルシアター 30日(金) トムテ 16日(金)	保育参加 個人面談	やきいも 健康教育 バランスボール パネルシアター
12月	生活発表会 8日(土) クリスマスコンサート 21日(金) 餅つき会 26日(火)	保護者会くじら組 8日(土) 生活発表会 8日(土)	もちつき クリスマスコン サート
1月	新年子ども会 10日(木) パネルシアター 25日(金)	めだか保護者会 25日(金)	パネルシアター 新年子どもかい
2月	節 分 1日(金) エールふれあい遊び 2日(土) トムテ 22日(火)	おたまじゃくし保護者 15日(金) かに・かえる・とびうお保護者会 ふれあい遊び 2日(土)	節 分
3月	ひなまつり 1日(金) 年長児とのお別れ遠足 日 卒園式 17日(土) パネルシアター 22日(金)	卒園式 16日(土) 健康診断 5日(火)	パネルシアター ひなまつり

※ 毎月・・・計測 避難訓練 幼児健診の実施 ※その他 蟻虫検査 歯みがき指導 (年間2回)

※ ボランティアの活用

※ 造形遊び (月1~2回)・体育遊び (週1回)・英語で遊ぼう (週1回) 実施

※ 木育活動